

東京大学大学院 医学系研究科
医学教育国際研究センター医学教育学部門
医学博士課程(内科学専攻) 大学院生募集

東京大学大学院医学系研究科 医学教育学部門では、医学生や医師などの医療従事者への教育・トレーニングに関する研究に関心のある大学院生(医学博士課程)を募集しています。今までの臨床経験をふまえた上で、オリジナリティを発揮して医学教育研究を行う意欲と資質がある方を歓迎します。主に医師の教育・トレーニングに関する研究を行いたい方を対象としていますが、他の専門職の教育についての研究を行うことも可能です。より良い教育・トレーニングの開発研究に携わることで、診療とは違った観点から医学に貢献してみませんか？

本部門では、シミュレーション基盤型トレーニングの効果に関する研究やVR/AR や遠隔情報通信システムなど最新のデジタル技術を用いた新規の医学教育に関する研究、医学生の臨床実習における侵襲的医行為に関する研究などに強みを持ちます。大学や大学病院という教育・トレーニングに関する研究を行うにはまたとない環境であり、また研究を行うためのさまざまな環境・機器が整備されています。

詳しくは、本部門ならびに附属病院クリニカルシミュレーションセンターのホームページを参照ください。研究室やセンターの見学は随時可能ですので、興味を持たれた方はぜひお気軽にご連絡を頂ければと思います。

<https://igaku-kyoiku.m.u-tokyo.ac.jp/index.html>

<https://www.h.u-tokyo.ac.jp/soken/simulator/index.html>

本部門において医学博士課程を修了することで以下のような能力を身につけることができます。

- ・医学教育・トレーニングを実践する上での教育法、評価法、カリキュラム開発などに関する知識と実践能力
- ・医学教育学の研究を行うための広範な学術的知識(学習理論、研究方法論など)
- ・医学教育学の研究を実践し、国際雑誌に掲載されるような原著論文を執筆する能力

また、医学博士号を取得した後のキャリアとして、大学医学部の医学教育部門や大学病院・総合病院の研修部門において、教員や指導的立場として学術的活動もできる医学教育実践家となることができます。特に国際的に発信できる研究活動をリードできる医学教育実践家はまだまだ少なく、需要が高いと言えます。

大学院生としての研究テーマは、皆様のご希望をもとに、相談の上決定しています。これまでの教育実践や後進の指導経験において漠然と浮かんだりサーチクエスチョンを、医学教育学理論の中で位置付け、研究テーマとして発展させ、学術的に検証するということが可能です。

また本部門は、大学・大学病院という教育の最前線で数多くの実務を担当しております。本学の TA (Teaching Assistant) 制度などを利用して、学部学生の教育、教材作成、OSCE などの試験の運営などに参加する機会は数多くあり、それらを通じて多くの経験・能力を身につけることが可能です。

入学手続きの詳細については、東京大学大学院医学系研究科のホームページをご覧ください。医学博士課程（4年）内科学専攻の中の「医学教育学」が専攻分野になります。

<https://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/appguidemain.html>

東京大学は 150 年の歴史を持つ日本を代表する総合大学であり、数々の偉大な研究者・教育者を排出してきました。そんな伝統と歴史のある東京大学であなたも学んでみませんか？

東京大学大学院医学系研究科
医学教育国際研究センター
医学教育学部門 教授 江頭 正人
講師 泉谷 昌志

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
担当：泉谷 昌志

e-mail: mededu * m.u-tokyo.ac.jp
(* を@に変換ください)